

GSRC seminar

National Center for Geriatrics and Gerontology,
Research Institute

サルコペニア関連バリエーションの機能解析

運動器疾患研究部

細山 徹 副部長

2026年4月23日（木）15時40分～
第1研究棟2階大会議室

サルコペニアは、その発症や増悪化に様々な因子が関わる多因子関連疾患である。我々は、培養細胞やマウスモデル、ヒト検体などを用いた多角的アプローチにより、サルコペニアの病態生理機構の解明および先制医療に資する新たな方法の開発を目指した研究を進めている。最近我々は、メディカルゲノムセンターとの共同研究において、サルコペニアとの関連が予想される幾つかのレアバリエーションを同定し（Furutani et al., Gerontology. 2026）、現在同定したサルコペニア関連バリエーションの骨格筋に与える影響についての検証を進めている。本セミナーではその研究成果の一部を報告する。